

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【公開番号】特開 2004-142392 (P2004-142392A)
 【公開日】平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-019
 【出願番号】特願 2002-312704 (P2002-312704)
 【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 J 2/44
 B 4 1 J 2/45
 B 4 1 J 2/455

【F I】

B 4 1 J 3/21 L

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 7 日 (2005.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のレーザーダイオードにより形成される光源列を主走査方向と異なる方向に配列した露光ヘッドから出力される光ビームを、記録材料に対し主走査方向に沿って相対的に移動して照射し、2 次元的に記録する画像記録方法であって、

前記レーザーダイオードを画像変調に依存した周波数のドライブ信号で駆動し、

前記記録材料上に相当する光ビームの光量を検出し、

前記検出した光量を基にして前記レーザーダイオードの光量調整を行うことを特徴とする画像記録方法。

【請求項 2】

前記レーザーダイオードから出力される光ビームを、前記露光ヘッドまで光ファイバーによって伝送するようにした請求項 1 に記載の画像記録方法。

【請求項 3】

前記記録材料を、前記副走査方向に略平行な直線を回転軸として回転するドラムの外周面に保持して、記録するようにした請求項 1 または 2 に記載の画像記録方法。

【請求項 4】

複数のレーザーダイオードにより形成される光源列を主走査方向と異なる方向に配列した露光ヘッドから出力される光ビームを、記録材料に対し主走査方向に沿って相対的に移動して照射し、2 次元的に記録する画像記録装置であって、

前記記録材料上に相当する光ビームの光量を調整する光量調整手段と、

前記レーザーダイオードを、画像変調に依存した周波数のドライブ信号で駆動する光源駆動手段と、

前記記録材料上に相当する光ビームの光量を検出する光量検出手段と、

を有し、前記レーザーダイオードを画像変調に依存した周波数のドライブ信号で駆動しながら、前記記録材料上に相当する光ビームの光量を検出し、該検出された光量に基づいて前記レーザーダイオードの光量を調整することを特徴とする画像記録装置。

【請求項 5】

前記レーザーダイオードから出力される光ビームを、前記露光ヘッドまで、光ファイバ

ーによって伝送するようにした請求項 4 に記載の画像記録装置。

【請求項 6】

前記記録材料を、前記副走査方向に略平行な直線を回転軸として回転するドラムの外周面に保持して、記録するようにした請求項 4 または 5 に記載の画像記録装置。